



復刻版

建築工芸 アイシーオール

監修 梅宮弘光 (神戸大学大学院教授)

推薦

金子一夫 (茨城大学教授 美術教育史) 橋爪紳也 (大阪府立大学教授 都市論)

復刻版 建築工芸アイシーオール

A5判変型/上製クロス装
総約4000頁

第1期全2冊
(1931年~1933年刊行分)

2015年1月 刊行予定 定価: 本体 75,000 円+税
ISBN: 978-4-336-05833-1

第2期全3冊 + 別冊
(1934年~1936年刊行分) (解説、年表、総目次、キーワード索引)

2015年7月 刊行予定 予価: 本体 91,000 円+税
ISBN: 978-4-336-05834-8

本書の特徴

- 1930年代モダニズム期において、アヴァンギャルディズムの最先端を体現した伝説的な建築・デザイン誌『建築工芸アイシーオール』。所載する機関がほとんどない稀少な雑誌を合本にて完全復刻。
- 「日本のバウハウス」と評される「新建築工芸学院」を開設し、多くの商店建築を手がけた建築家・川喜田煉七郎が責任構成。独自の図解が横溢する魅力的な誌面から、当時の世相や社会・文化的状況をも見てとることができる。
- 川喜田煉七郎は、図画教育の一大運動である「構成教育」を主唱した。本書に掲載されているテキストや豊富な図版によって、川喜田による「構成教育」の具体的な内容を跡付けることができ、教育史の研究にも必須の資料である。
- バウハウスのデザイン理論をはじめ、国内外の都市計画、大建築、劇場、小住宅、店舗設計の事例紹介といった建築関連の情報、さらには、演劇、映画、写真、文学など、当時の先端の文化的情報を、豊富な図版や解説によって紹介している。
- 現存しない建築・店舗の図版資料など、本誌でしか知り得ない情報も多彩で、建築史・デザイン史の再検討に有用である。また、実作のための手引き書としても編集されており、当時の日本の建築設計事情の研究にも活用できる。
- 第2回配本には別冊として、監修者による詳細な解説、年表、総目次、キーワード索引を付し、利用者の便を図った。また「新建築工芸学院の概要及び学則」などの関連資料を収録した。

本書をお薦めしたい方々

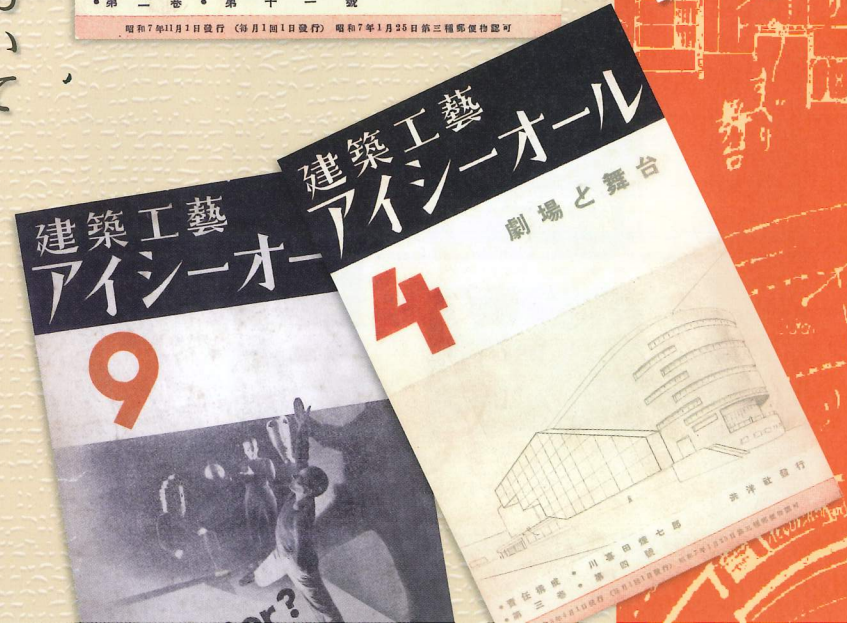
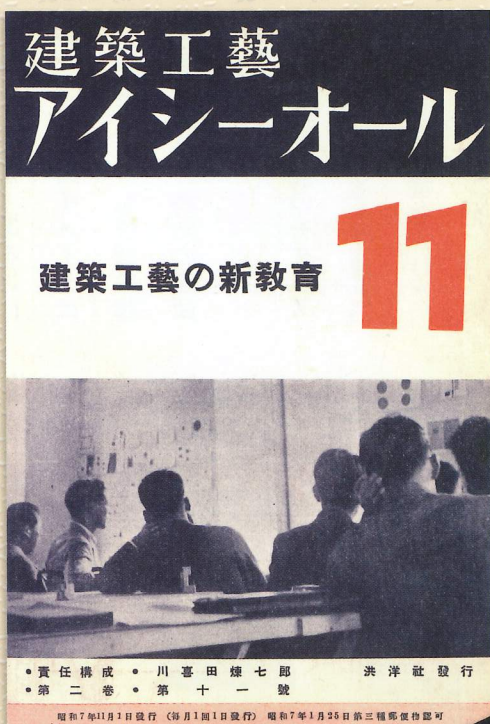
- 建築学・建築史・都市計画などの研究者/工学部
- 美術史・デザイン史などの研究者/芸術学部
- 美術教育・教育史などの研究者/教育学部
- 演劇史・映画史、近現代史、社会史などの研究者/文学部
- 商業史などの研究者/商学部
- 生活史、住居学などの研究者/家政学部
- 建築意匠設計者、都市計画デザイナー、グラフィックデザイナー、建築・デザイン系専門学校
- 大学図書館、都道府県立図書館、市立図書館
- 博物館、美術館、ギャラリー



関連既刊書

- 復刻版 インターナショナル建築
京都国立近代美術館 監修
A4判変型/総992頁
定価: 本体 68,000 円+税 ISBN: 978-4-336-05088-5
- 復刻版 現代建築
笠原一人 監修 B5判/総1,050頁
定価: 本体 83,000 円+税
ISBN: 978-4-336-05446-3
- 復刻版 工芸ニュース (全2期)
財団法人 工芸財団 監修/森仁史 解説
第1期・全6巻 第2期・全6巻
定価: 本体 140,000 円 定価: 本体 130,000 円
ISBN: 978-4-336-05646-7 ISBN: 978-4-336-05656-6

国書刊行会 〒174-0056 東京都板橋区志村 1-13-15 TEL:03-5970-7421 FAX:03-5970-7427
http://www.kokusho.co.jp e-mail:sales@kokusho.co.jp



一九三〇年代モダニズム期において生活文化のすべてを見つめ、独特の図解と解説によって人とモノとの関係性を明白にし、デザインの新しい考え方を示す——「日本のバウハウス」「構成教育」の主唱者・川喜多煉七郎による幻の建築・デザイン誌、待望の完全復刻!

全58号 + 別冊

国書刊行会

取扱店

申込書

ご記入後、お近くの書店へお持ち下さい。

『復刻版 建築工芸アイシーオール』
第1期全2冊 定価: 本体 75,000 円+税 _____ セット
第2期全3冊+別冊 予価: 本体 91,000 円+税 _____ セット

お名前 _____
ご住所 _____
お電話 _____

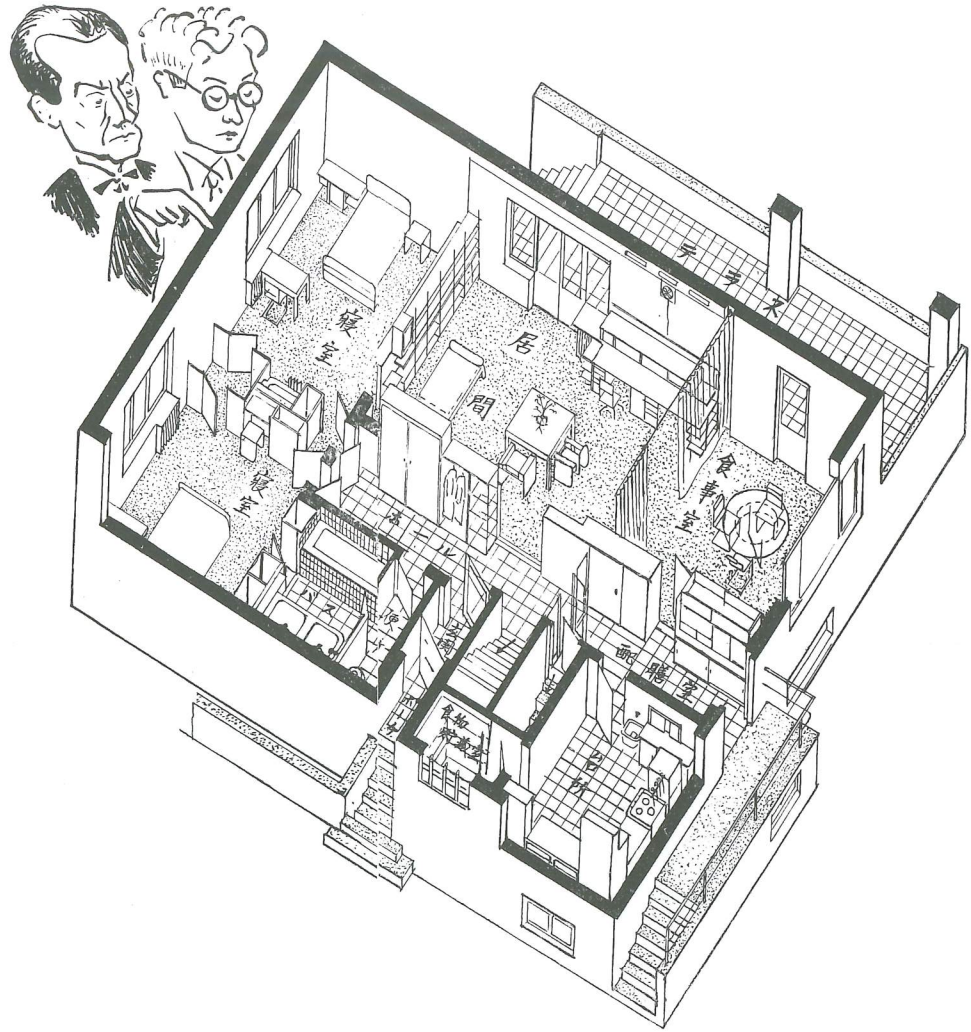
『建築工芸アイシーオール』復刻版 監修のことば

神戸大学大学院教授 梅宮弘光

一九三〇年代的モダニズムの横溢

本誌は、戦前期の建築・デザイン関係雑誌のなかでも、そのアヴァンギャルディズムにおいて先端をなすもののひとつである。こう書けば、難解で取り澄ました印象を、あるいは尖鋭な政治性を期待されるむきがあるかもしれない。しかし、そのような前衛イメージは一九二〇年代的なもの、三〇年代のアヴァンギャルディズムは、外見や理念よりも技術や論理の内実を追求する方向に変わっていく。しかも現実的に、わかりやすく。この動向の先頭をすさまじい馬力で駆けていった男、それが川喜田煉七郎であった。

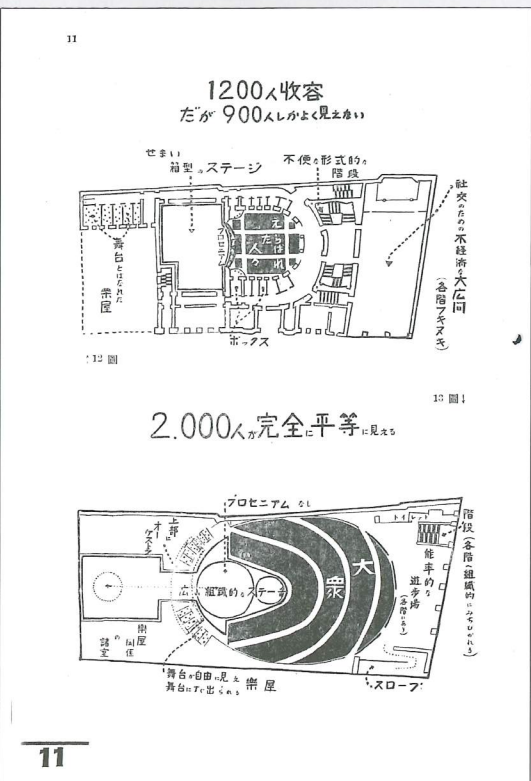
本誌は、その彼が独力で執筆・編集したものだ。だから、あたかもこの博覧強記のモダニストの頭の中を覗き込む感がある。「アイシーオール」とは、物質世界のすべてであると同時に、人やモノの間にある見えない関係をも含んだ「オール」なのだ。見えるものに働きかけて、見えない関係をつくり変えていく、それがデザインであり、見えないものを見えるようにして共有する手法が、彼独特の図解や解説であり、そして主唱する「構成教育」の精髓であった。その結果、誌面からは、当時の建築雑誌の定番であった竣工写真や回りのくどい評論、大家による他愛ない随想などはすっかり追い出され、かわりに独自の図解や解説が満載である。本誌に横溢するこうした一九三〇年代的モダニズムの姿は、今日の広範な領域から多面的に検討されることで、モダニズム研究の深化と新展開がもたらされるにちがいない。別冊資料篇では詳細な索引や年表など、検索の便宜となるデータ整備を心がけた。



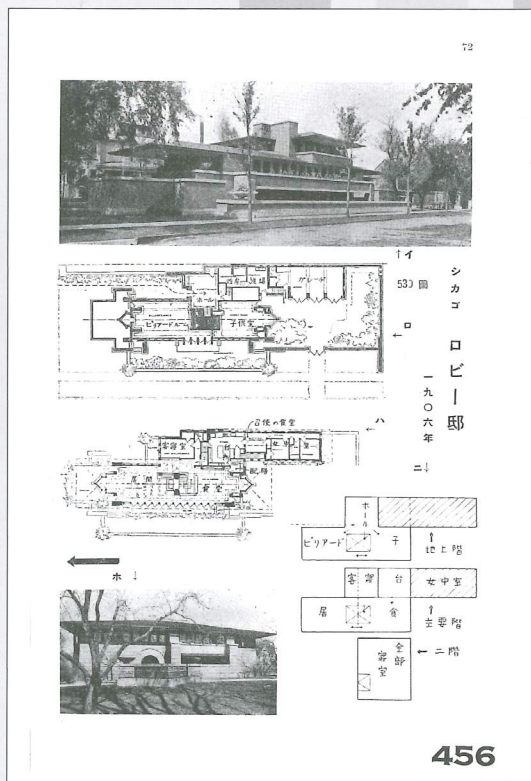
3 此圖の左側に居るのが、グロピウス先生と、ナガノ君だ。かうかいて見ると、如何にもグロピウスがマイフリストに似てゐる様である。このアイソメ——詳しくは等角透視圖——は前頁のプランと、4頁以下の写真によつてナガノ君が、はじめてひいて見たものである。1頁のプランがずつと立體的に浮び上つて見えるのは仲々面白い。これからこの一つの空間について色々な研討をしてゆかう。その前に先づこのアイソメと、1頁のプランを較べて見てくれ給へ。

この方法は、何も本や写真から引出さなくとも實際の良い住宅に就ても出来る事で、實際に就てその建築や工芸を色々つかつて見る事によつて一層了解出来るものが多からう。一つの器具に就ても、それが我々の生活空間の中に置かれた場合に就て色々研討して見る事が必要だ。家具の細部の實驗的な研究よりも、住居の生活全體に亘つての見通しが、先づデザイナーには必要であるといふ事は、はつきりお断りして置く。個定した建築工芸でなくて、生活を先づ觀察するのだ。

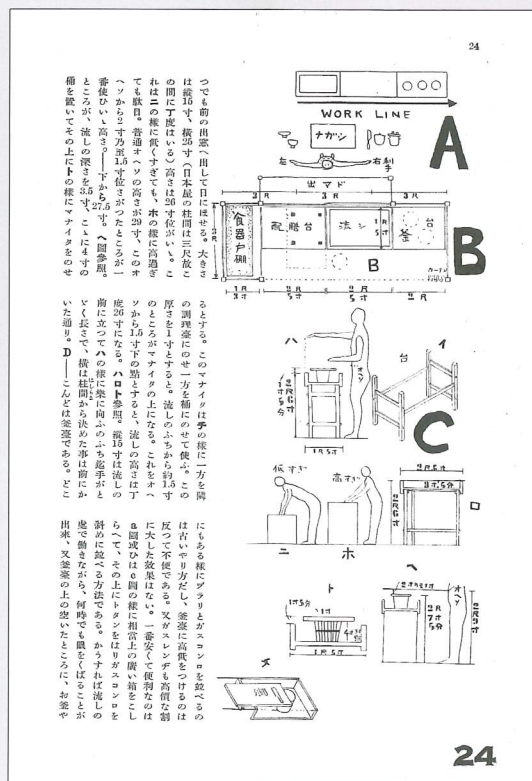
第5巻第3号「グロピウス家訪問」より



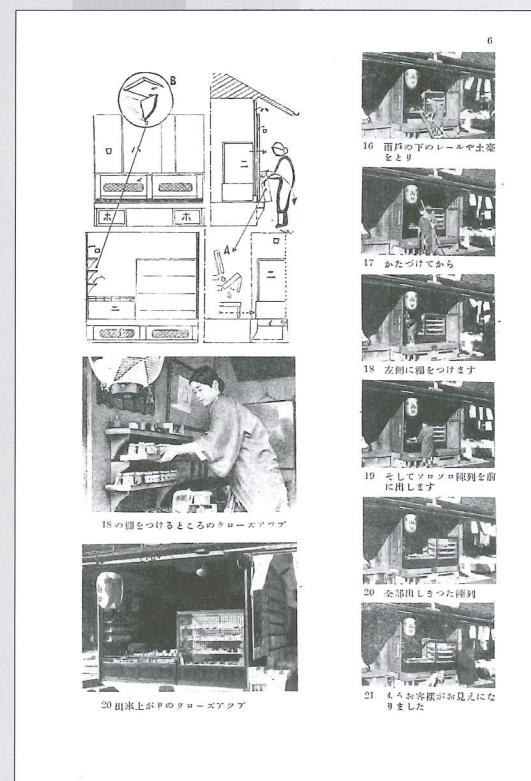
第3巻第4号「メイエルホリド劇場」より



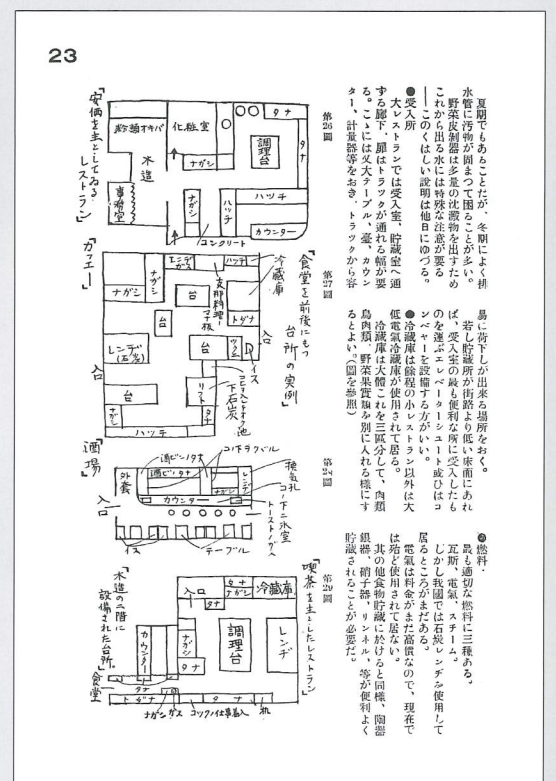
第5巻第10号「近代建築6アメリカ」より



第4巻第12号「最小限の台所提案」より



第6巻第7号「要領のよい陳列」より



第2巻第1号「新しいレストランの設計」より

推薦のこぼれ

(五十番目)



第1巻 第4章 [完成直における構成教育]より

「『建築芸術』は、川喜田が大胆に、かつ強い意思をもって都市や建築と向き合ったこの時期に創刊されている。いくつかの号で表紙に掲載された「眼帯」と「民衆の家」の写真は、「都市性」に対して見開いた彼の好意のまなざしにはかならない。本誌を手にするたびに、私たちの目も時空を超えて、その視界と一体となる。

モダニズム的な国民教育の試みは、大正十年あたりから始まる。昭和に入ると、機械美「構成」といった言葉が国民教育の論議にも出現する。大正中期に自ら運動を起した山本徳次と大昭和に入ると「構成(コンストラクション)」の教育的価値を認めようとする。このような傾向に明確な形を与えたのが、川喜田七郎の構成教育運動であった。構成教育は、川喜田がバウハウスの予備講座を参考に作り上げた教育体系である。川喜田の編集する『建築芸術』イデオロギーには、構成教育に関する論説や活動報告が初号から逐次掲載される。それによって構成教育概念の深化と普及の過程を踏及することができる。「『建築芸術』イデオロギー」は、第3巻第9号(昭和八年八月)、第3巻第9号(同年九月)、第4巻第7号(昭和九年四月)は「構成教育」第1、第2、第3巻第4号(昭和十年四月)同第6号(同年六月)は「見聞直における構成教育」1、2という特集号であった。特後者には、開閉するが横川小学校で描かれた児童の構成作品が多量に掲載され、構成教育の浸透を確認することができる。

茨城大学教育学研究科教授・美術教育史
金子一夫

表紙に「目」がある。『目』がある。全国の店舗建築の近代化に奔走し、構成教育の普及に情熱を燃やした原住の建築家、川喜田煉七郎が、建築成者として関与し『雑誌』『建築芸術』イデオロギー、いよいよ目覚める。川喜田は、店舗建築の設計手を抑やらずに支援するべく、「図解」という手法にこだわり、工事を重んじた。雑誌に掲載された「図解」の頁を見ても、徹底し実践的かつ合理的に建築デザインに接した川喜田の確信に触れることができる。「『建築芸術』イデオロギー」すなわち「I SEE ALL」評語、I see and I knowを想起させる。森のみで自分と一体となった大時人だた、すべてを見るだけの存在になった川喜田は、I see allの眼帯 [I am nothing / I see all] として、民衆と一体となり、斬新な建築や合理的なデザインに、ただただ自らを向け放つた人物であった。一九二〇年代後半、川喜田は「『今』明日の建築を構える会」を結成、「土方」野外映画館「民衆映画館」を創設し「改造遊楽園」などの構想を発表している。「『建築芸術』イデオロギー」は、川喜田が大胆に、かつ強い意思をもって都市や建築と向き合ったこの時期に創刊されている。いくつかの号で表紙に掲載された「眼帯」と「民衆の家」の写真は、「都市性」に対して見開いた彼の好意のまなざしにはかならない。本誌を手にするたびに、私たちの目も時空を超えて、その視界と一体となる。

大分県立大学21世紀科学部研究科教授・都市論
橋爪紳也

目を見開く復刻!

全巻の構成と目次抄録

※文字は特報

第1回配本(全2冊) 定価: 本体75,000円+税 ISBN: 978-4-336-05893-1

第1冊(1931年11月号~1932年12月号)

※本誌創刊の第1号には、原簿の1巻・第2巻も含まれています

- 1 創刊 近代住宅の構成/新建築雑誌/食と食器の問題
- 2 近代住宅構成/家庭用品の新発明品/新商店商品目録
- 3 レットラフ/ウクライナ劇場
- 4 新しい商店の構成/シロウインドウの反射について
- 5 コルビジエの見た赤色シロウ/商業美術学校設立
- 6 学校建築 近代学校建築構成
- 7 アレキサンダー・ウクラインの平面設計に関する一考察
- 8 映画建築/モンテ・アージュ 映画計 スター・映画
- 9 小売店の改造 小売店の閉鎖/看板と店名
- 10 商店教育書 2 構成教育に関する記録/急形建築
- 11 商店建築 店内の構成/商品による商品の分類
- 12 ショー・ウインドウの設計/平面のコンポジション

第2冊(1933年1月~12月)

※本巻の第3号から第5号

- 1 近代建築史 3
- 2 スポーツ建築 運動競技場/スポーツ建築と設備
- 3 新しい窓の構成/ネットワーク・ロウをみるおとくる討論
- 4 劇場と舞台 メイエルホルド劇場/欧州における最近の舞台台
- 5 建築の立派から「写実」を見る/後の機械劇場
- 6 台所のつくり方/住宅の台所
- 7 現代のフランス建築/ノヴェット劇場の新演出と舞台構成
- 8 構成教育書 構成教育とその基礎づけとしてのグリュクストル心理学
- 9 小売店の改造 小売店の閉鎖/看板と店名
- 10 商店教育書 2 構成教育に関する記録/急形建築
- 11 商店建築 店内の構成/商品による商品の分類
- 12 ショー・ウインドウの設計/平面のコンポジション

第2回配本(全3冊+別冊1) 予価: 本体91,000円+税 ISBN: 978-4-336-05894-8

※原本の第4巻を収録

第3冊(1934年1月~12月)

- 1 近代建築史 4
- 2 小住文雄グラフィックの誌
- 3 食卓の設計/食事室の差別
- 4 近代建築史 5 フランスに於ける新建築
- 5 アパートメントハウス/小児堂の建築的試作
- 6 メイエルホルドとその住宅/珍造住宅
- 7 構成教育書 3 絵画教育/構成教育の記録 3
- 8 アパートメントハウス/山本徳次に於ける建設論
- 9 材料と構造の誌 2
- 10 小売店模範計画図に於て1「構成教育のページ
- 11 図解・住宅建築の図解
- 12 図解・住宅建築の図解

第5冊(1936年1月~8月)

※原本の第6巻を収録

- 1 商店の建築/商店誌とは「ネット」映画(アインホーン技術手帳 1)
- 2 近代の建築(バウハウスの建築論)
- 3 アート利益計算/グラフィックニュース(昭和)「変わったウインドウ設計
- 4 新形写実の絵画/体行く澳洲の建築/流行の美術祭典と
- 5 現代の演劇(タイ・ロウ、メイエルホルド、スタニスラフスキ他)
- 6 商店に於ける図解 2(ウインドウ店の陳列/階段まはりの装飾/まはるかミ/原形給)?/ファンタインの装飾 他)
- 8 [別冊] 商店の陳列(茶館、菓子店、小売店)/映画館の建築

第4冊(1935年1月~12月)

※原本の第5巻を収録

- 1 家長と住宅の設計グラフ 袖字に原簿の第5巻まで調査する
- 2 建築工芸雑誌 グラフィックニュース「高度さどう調査する
- 3 アメリカ人建築の共同住宅/世界最小の小売店
- 4 児童園に於ける構成教育

